

注意：以下の問題において用いられる記号・用語などの表現は、特に断らない限り、講義において用いたものとする。

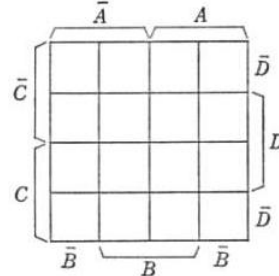
1. 命題論理の論理式 $P \Rightarrow (Q \Rightarrow P)$ は恒真である。
 (1) このことを真理値表を書いて示しなさい。

P	Q	
T	T	
T	F	
F	T	
F	F	

- (2) このことを式の変換により示しなさい。

$$P \Rightarrow (Q \Rightarrow P) \equiv$$

- (2) この回路のカルノー図を描き、もし簡略化できる場合は簡略化（グループ化）したうえで、その論理式を示しなさい。



- (3) 以上の結果の回路を構成し、回路図を具体的に描きなさい。ただし、NOT ゲート、OR ゲート、AND ゲートのみで構成すること。

2. 論理式は同値な関係を用いて標準形に変換することができる。
 (1) 次の式を和積標準形(乗法標準形, 連言標準形)に変換しなさい。

$$(\neg X \wedge \neg Y \wedge \neg Z) \vee (X \wedge Y) \vee (Y \wedge Z)$$

$$\equiv$$

4. 次の文章を述語論理の式を用いて表現しなさい。

- (1) すべての鳥が飛ぶとは限らない。
 ($B(x)$: x は鳥である, $F(x)$: x は飛ぶ, とする)

- (2) 人は誰でも誰かを好きであるが、誰をも好きな者はいない。
 ($H(x)$: x は人である, $L(x, y)$: x は y を好きである, とする)

- (2) 上記の(1)の結果を完全な標準形に変換しなさい。

$$(\text{直前の式}) \equiv$$

3. 4入力1出力の回路において、4つの入力を A, B, C, D , 出力を Y で表すとする。

- (1) 出力 Y が下記の論理式で表されるとき、この回路の真理値表を書きなさい（下の表の未完成部分を完成させること）。

$$Y = ABC\bar{D} + A\bar{B}C\bar{D} + A\bar{B}C\bar{D} + A\bar{B}C\bar{D} + \bar{A}B\bar{C}D + \bar{A}B\bar{C}D + \bar{A}B\bar{C}D + \bar{A}B\bar{C}D$$

A	B	C	D	Y	A	B	C	D	Y
0	0	0	0		1	0	0	0	
0					1				
0					1				
0					1				
0					1				
0					1				
0					1				
0	1	1	1		1	1	1	1	

5. ファジィ命題「 x is A 」の真理値は、ファジィ集合 A のメンバーシップ関数 $\mu_A(x)$ で表されると考えよう。いま、修飾語 $m = \text{very}$ によって述語 A が修飾されたファジィ命題「 x is mA 」の真理値 $\mu_{mA}(x)$ は、ファジィ集合 A^2 のメンバーシップ関数 $\mu_A(x)^2$ で表されるとする。

このとき、ファジィ集合 A^2 はファジィ集合 A に包含されることを式で示しなさい。

また、そのことをメンバーシップ関数 $\mu_A(x)$ と $\mu_A(x)^2$ を図示することで示しなさい。

ただし、全体集合を X とし、 X におけるファジィ集合を A とし、

$$X = \{1, 2, 3, 4, 5\}$$

$$A = 0/1 + 0.2/2 + 0.5/3 + 0.8/4 + 1/5$$

とする。